



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 43 号

2007.8.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- －観察会の日程変更について
- －第 10 回八幡湿原再生協議会の議事録が公開
- －雑誌「旬遊」への記事掲載について
- －「さわやか自然百景」で八幡を紹介

活動報告

- －八幡湿原の植物と昆虫観察会
- －千町原草原の保全活動

観察会案内

- －千代田のオオサンショウウオと水辺の生き物観察会
- －龍頭山の昆虫観察会
- －世界最南限のカワシンジュガイ観察会
- －雲月山の植物観察会

お し ら せ

● 観察会の日程変更について

8月に予定していた「千代田のオオサンショウウオと水辺の生き物観察会」および「世界最南限のカワシンジュガイ観察会」の日程が変更になりましたので、観察会案内の項でご確認ください。

● 第 10 回八幡湿原再生協議会の議事録が公開

広島県のホームページにて、第 10 回八幡湿原再生協議会の議事録（PDF ファイル、324KB）が公開されています。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/www/contents/1179196976505/files/gjjiroku070602.pdf>

● 雑誌「旬遊」への記事掲載について

季刊誌「旬遊HIROSHIMA」の第 17 号に、高原の自然館提供の記事が掲載されています。

● 「さわやか自然百景」で八幡を紹介

8月5日（日）7:45 からの NHK 『さわやか自然百景』で八幡高原が紹介されます。どうぞご覧下さい。

今後の観察会予定

- | | | | |
|---------|-------------------------|---------|-----------------------|
| 8月 11日 | 千代田のオオサンショウウオと水辺の生き物観察会 | 11月 11日 | 紅葉の山でゴギの産卵観察会 |
| 11日 | 龍頭山の昆虫観察会 | 23日 | 千町原草原の保全活動 |
| 12日 | 世界最南限のカワシンジュガイ観察会 | 12月 2日 | 八幡高原の冬鳥&越冬する樹木の姿 |
| 9月 8日 | 雲月山の植物観察会 | 9日 | 冬の工作「小鳥を呼ぼう、かんじきで歩こう」 |
| 17日 | 霧ヶ谷湿原の植生調査 | 1月 20日 | アニマルトラッキング |
| 10月 20日 | キノコの観察会 | 2月 17日 | スノートレッキング |
| 21日 | 寒曳山の植物観察会 | 3月 9日 | スノートレッキング |

観 察 会 報 告

● 八幡湿原の植物と昆虫観察会

開催日時：2007年7月8日(日) 9:30

講師：和田秀次、岩見潤治

前日までの雨がウソのように晴れ渡った青空の下、32名の参加者の皆さんとともに八幡湿原の植物と昆虫の観察会が行われました。講師は和田先生、岩見先生です。尾崎沼の入り口のところからぐるりと1周しました。虫や花をみつけるとすぐに「これは?」「名前はなに?」と質問がとびだし、先生もすぐさま答えてくださいました。分からないものはその場で図鑑をひき、照らし合わせて名前を調べ、生態を教えてくださいました。堰堤までたっぴり1時間かけて歩き、そこからは細い道を1列に並んで歩きます。ササユリとノアザミがそこそこに咲き、参加者を迎えてくれました。花と昆虫は密接な関係にあり、ノアザミとトラマルハナバチ、ミズチドリとヒメシジミ、バイケイソウとバイケイハムシ、オカトラノオとイチモンジセセリなど、様々な取り合わせを見ることができました。他にも物差しのような模様がついているモノサシトンボ、青リンゴガムの匂いのするオオヘリカメムシ、金色の目をしたシュレーゲルアオガエル、充血したような赤目のモリアオガエル、肉食のムシヒキアブ、オスがメスに餌のプレゼントをするヤマトシリアゲ、翅(はね)と後ろ足をこすりあわせて音を出すナキイナゴなどなど個性的な昆虫のオンパレードでした。植物では最初にクリの雌花と雄花のお話を聞き、秋とはまた違ったクリの姿を楽しみました。他にはかぶれの木と言われるヤマウルシ、ツタウルシの特長を教えてくださいたり、ミズチドリの美しさを堪能したり、クマイチゴの実を少しだけ味わったり、日本のヘーゼルナッツと言われるツノハシバミの実を眺めたりと、とにかくたくさんの種類の植物・昆虫について教えてくださいました。

個人的にはムラサキニガナの花が可愛らしく思ったことと、オオヘリカメムシの匂いをかいでみて、意外にいい匂いだったことが印象的でした。

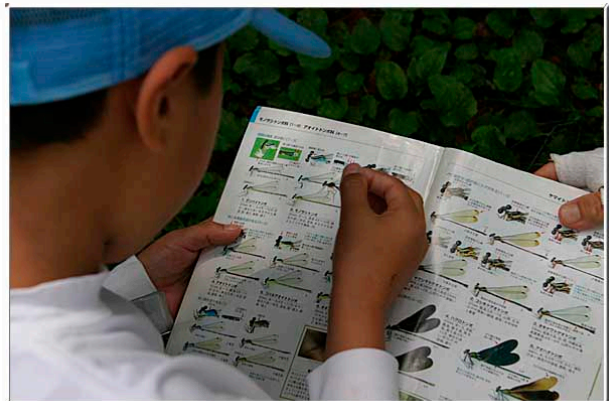
観察会の最初に和田先生が「植物も昆虫も現地で楽しみましょう」とお話されました。この場所を訪れるひとすべてが、踏みあとをつけな

い、咲いているものなどを持ち帰らないという意識を徹底させることこそがこのすばらしい湿原を残していくことなんだと再認識させられました。

ハンカイソウやマアザミ、ノハナショウブが咲き、チョウ類が舞う美しい湿原の姿をいつまでも見続けたいと願い、観察会を終えて八幡湿原をあとにしました。



先生を先頭に左右に目を配り観察観察・・・



わからない種類はすぐさま図鑑で調べる。どうやらモノサシトンボの♀らしい。



擬態昆虫として有名なナナフシ。小枝のよう。



おもしろい形のオニスゲの実. 触ってみると思ったほど痛くない.



昆虫を見る目がとても優しい岩見先生. 同じ道を歩いても見つけ出すのがとても素早かった.



最後の堰堤のところでモウセンゴケの花を見つけて観察.

【みなさんの印象に残った物】

「大きなセミを見たこと」「湿原にたくさんの植物・動物が多い事.」「イチヤクソウ」「ジャコウアゲハを初めて知った.」「ウメモドキを見られたこと.」「いろいろな植物といろいろな虫がいたのが楽しかったです. カエルが顔を出しているところ.」「モリアオガエルの卵とモリアオガエルを近くで見たこと.」「ミズチドリの美しさ.」「初めてモリアオガエル・ミズチドリを見た.」「ハンカイソウが全開で良かった.」「限りなく白いミズチドリの花. ナルコユリの大きかったこと. シリアゲのプレゼント作戦.」「ジャコウアゲハ」「モリアオガエルノ木登り.」「カイツブリ, シリアゲムシの求愛給餌」「クモキリソウ」「モノサシトンボ」「色んな植物と色んな昆虫.」「クロイトトンボの潜水産卵. ジャコウアゲハ, モリアオガエル, エゾハルゼミ」「モノサシトンボの交尾」「先生の話がよくわかった. イチヤクソウ・ミズチドリ」「バイケイソウ」「湿原そのもの」

【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「楽しい会でした. (2)」「多人数で一本道でモリアオガエルを間近に見た.」「ハンカイソウ群落とモリアオガエルの卵と実物を間近に見た.」「みなさんと一緒に歩くと沢山の発見があつことがうれしかった.」「いろいろな植物, いろいろな虫がいたので楽しかったです.」「自然にふれたことが良かったです.」「とても湿原が美しく良かったです.」「この湿原には沢山の動・植・昆虫がありこの自然をずっと守りたい. 楽しい一日でした.」「大好きなノハナショウブがすばらしかった.」「様々な湿地植物を見れてよかった.」「ハンカイソウ. ノハナショウブなど花がきれいでした. 昆虫も多く, すばらしい湿地です.」「花も虫も見れてよかった.」「子どもが興味深そうにしてよかった.」「普段余り見られない昆虫や植物が観察できた.」「すごい大きな湿地をみれて楽しかったです.」「いろいろと教えていただき, ありがとうございます.」「普段見ることのできない生き物(モリアオガエル, トンボ類, チョウ類)を見ることができたことや, いろんな植物の名前を教えてもらったのが楽しかったです.」

観 察 会 報 告

● 千町原草原の保全活動-夏の草刈り-

開催日時：2007年7月29日（日）8:00

一年で最も暑い真夏の草刈りを前に一番気になったのは、やっぱりお天気でした。晴れたら暑いのは当然ですが、雨でもカッパが蒸れると中から暑くなってしまいます。何度も天気予報を見ましたが、当日の朝は、ガスがかかっています。少し湿度が高いですが、カンカン照りよりはずいぶんましです。

今回の作業に集まったのは54人。地元の方や県内の方をはじめ、遠くは島根県の大田からも参加者がいました。8:10、山麓庵に集合し、地元を代表して前建生さんに挨拶していただきました。その後、作業の説明と安全に関する注意をして現地へ移動し、いよいよ作業開始です。

今回は「植物が最も成長する時期に刈り取りをすることで、ノイバラなどを抑制する」というのが目的でした。19名の方が草刈り機を持ってきて、一斉に刈り始めると、ススキやノイバラ、イヌツゲなどが、見る見る刈り払われていきました。借り倒されたものは、できるだけ草と木を分けて積み上げました。この目的は、あとから堆肥のための草を取るときに都合が良いことと、刈り取った草を除けることで地面に直接陽をあてて草花の芽生えを促すことです。

途中の休憩では冷たいお茶や飴、スイカ等が配られて、しっかりと水分を補給しながら作業を進めました。刈り取っていく間には、ノハナショウブやユウスゲの群生や、レンゲツツジの大きな株が現れました。普段は近寄らない場所なので、何度も千町原を歩いている人もビックリしていたようです。

お昼には作業を終え、山麓庵で豚汁を飲みながら、持ってきたお弁当を食べました。話題は千町原のことが中心です。高原の自然館から管理計画を提案しましたが、早くも「来年焼きましょう」という声も聞こえました。

草原は、人が管理することによって、はじめて維持される生態系です。今回、一人のけが人も無く作業を終えることができ、「ああ、また続けることができるなあ」と思いました。作業が進んだことそのものも嬉しいことですが、事故がなく、みなさんと意見交換やふれ合いが

できたことも大きな成果だと思いました。[し]



草刈り前の状況。アカマツやノイバラが入ってきている草原。



朝霧が残る中、作業開始。刈り払い機で刈っていく。



刈られた草を集めていく。木は草とは別に積み上げた。どんどん草の山ができ、見る見る見晴らしが良くなる。



二回目の休憩ではスイカが登場．とにかくみんな
なでモクモク食べる．



作業を終えたはらっぱを背景に，最後に全員で
記念撮影．



上野さんから，渡り鳥にとってのヨシ原の重要
性について解説された．



山麓庵を吹き抜ける風が心地よかった．



草の上で一休み．



今回は「my コップ・my 箸・椀・コイン（参加費）」
を呼びかけたところ，ゴミはわずかこれだけだっ
た．また，ペットボトルのゴミもずいぶん持ち帰
りいただき，感謝します．

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 千代田のオオサンショウウオと水辺の生き物観察会

開催日時：2007年8月11日(土) 13:00
集合場所：千代田中央公民館
講師：内藤順一
準備：サンダル・短パンなど水に入れる服装、おやつ、箱メガネ
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

国の天然記念物であるオオサンショウウオを中心に、千代田の可愛川で水辺に住む生き物を観察します。オオサンショウウオが実際に動くところを見たり、どんなものを食べているかなどオオサンショウウオの生活がよくわかるお話も聞くことができます。お子さんにおすすめの観察会です。

● 龍頭山の昆虫観察会

開催日時：2007年8月11日(土) 17:00
集合場所：道の駅 豊平どんぐり村
講師：岩見潤治、清水健一
準備：基本セット、虫除け
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

例年は八幡高原周辺で観察していましたが、趣向を変えて、今回は豊平の龍頭山で昆虫を観察します。ライトトラップと、ベイトとラップ、2種類の方法で昆虫を呼び寄せる予定です。子どもも大人も楽しめる観察会ですよ。

● 世界最南限のカワシンジュガイ観察会

開催日時：2007年8月12日(日) 13:00
集合場所：芸北文化ホール
講師：内藤順一
準備：サンダル・短パンなど水に入れる服装、おやつ、箱メガネ
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

生息地が世界の南限とされるカワシンジュガイの観察会です。実際に川に入り、生息している川の環境を見たり、どのように生息しているかを目で見ることが出来ます。繁殖に関して重要な役割をもつアマゴやアブラボテとの関係のお話も聞くことができます。

● 雲月山の植物観察会

開催日時：2007年9月8日(土) 9:30
集合場所：雲月山駐車場
講師：佐久間智子・和田秀次
準備：基本セット、弁当
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

秋の雲月山で草原の植物を観察します。「キキョウ、ナデシコ、オミナエシ〜♪」と「I love Uzutsuki」に歌われているように、山焼きをした秋の雲月山は、本当に様々な花が咲き乱れます。草原に立ち、風を感じるだけでも、気持ちの良い観察会ですよ！ぜひご参加ください。

千町原草刈りの朝、現地を歩いたり、テントを立てる作業をしたりしました。その時に腕と足をブユ(ぶと、ぶよ)に噛まれてしまい、受付の頃にはとても痒くなっていました。ポリポリと掻いていると、参加者のお一人が「八幡の人に聞いた民間療法よ」と言って付けてくれたのは、なんと梅干しの汁でした。開会の頃には本当に腫れと痒みが引いてビックリしました。お試しあれ……。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info